

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0329
施設名	多摩保育園
施設所在地	昭島市東町5-1-40
法人名	社会福祉法人 多摩育児会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

「ひつじプロジェクト」

<テーマの設定理由>

私たちの生活の成り立ちを知り、興味を持つことが必要と感じ、設定をした。

## 2. 活動スケジュール

2025年5月～2026年2月

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

羊・毛刈りパフォーマンス・羊毛作家・羊毛制作セット・染色セット・織機・縫いさしセット・大型フェルト制作セット・柱（6本）

大型バン・羊毛洗浄用たらい・干し台・染色用ガス台・鍋・ザル・道具など

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>



##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

羊との出会いでは驚き、そばに行けない子ととても近くで見たり、触ったり、においを嗅いだりと「ひつじかわいい～」と非常に喜んだ様子でかかわっていた。羊の油や、においを覚え、「あっ羊のにおいがする」など会話をする子がいた。「羊毛ってあったかいよね」など特性を理解している発言も聞かれるようになっていった。

#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

『羊といっしょに』私たちの生活と羊との関りの深さをこの活動を通して知る事ができた。羊との出会いでは、フワフワの可愛い羊として接していたが、毛刈りを行い、それを洗い作品に仕上げしていく事で素材へ変化をし、衣類や住居を作る為の素材になることを知っていく。作品作りでは個人で作るものと、協力し合って作る物の両方を経験した。個人で作る活動では素材を選び、イメージを形として表現する楽しさを学んだ。使い慣れた素材ではない為、試行錯誤を行いながら形に仕上げた。思い通りにいかず、何度もチャレンジしている姿もあった。素材の使い方や力加減など工夫をしていた。また、協力し合って作品を作る物はイメージの共有や対話や話し合いの重要性を感じていた。順番や役割を決めチームとして活動ができる工夫をしていた。長い時間をかけ、少しずつできる事が増えていき、最終的にイメージをした物が形になる。モノ作りの楽しさ。モノ作りの原理を知る事で、大切に扱ったり、手入れをしたり、修理ができるようになった。時間をかけてできる事が増え、表現ができるようになり自信に繋がる事ができると感じた。